

みずほCustomer Desk Report 2020/06/05号 (As of 2020/06/04)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.88
TKY 9:00AM	109.00	1.1235	122.44	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	109.20	1.1362	123.96	1.2569	0.69270
SYD-NY Low	108.62	1.1195	121.87	1.2633	0.69870
NY 5:00 PM	109.14	1.1337	123.74	1.2500	0.68820
NY DOW	26,281.82	11.93	日本2年債	-0.170	0.00bp
NASDAQ	9,615.81	-67.10	日本10年債	0.030	2.00bp
S&P	3,112.35	-10.52	米国2年債	0.20	0.60bp
日経平均	22,695.74	81.98	米国5年債	0.41	4.53bp
TOPIX	1,603.82	4.74	米国10年債	0.82	7.93bp
シカゴ日経先物	22,735.00	-190.00	独10年債	-0.3245	3.20bp
ロンドンFT	6,341.44	-40.97	英10年債	0.3060	3.40bp
DAX	12,430.56	▲ 56.80	豪10年債	1.0090	3.40bp
ハンセン指数	24,366.30	40.68	USDJPY 1M Vol	5.65	▲0.13%
上海総合	2,919.25	▲ 4.12	USDJPY 3M Vol	5.95	0.00%
NY金	1,727.40	22.60	USDJPY 6M Vol	6.60	▲0.03%
WTI	37.41	0.12	USDJPY 1M 25RR	-0.85	Yen Call Over
CRB指数	135.75	0.74	EURJPY 3M Vol	7.73	0.18%
ドルインデックス	96.68	▲ 0.60	EURJPY 6M Vol	8.06	0.14%

【昨日の指標等】

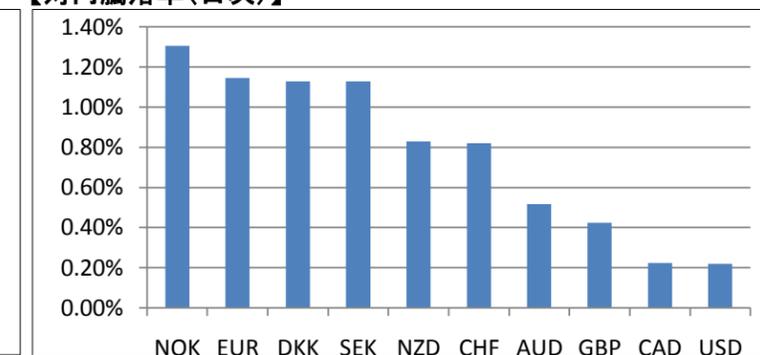
Date	Time	Event	結果	予想	
6月4日	18:00	欧	小売売上高(前月比)	4月 -11.7%	-15.0%
	20:45	欧	ECB主要政策金利	4-Jun 0.0%	0.0%
	20:45	欧	ECB預金ファシリティレート	4-Jun -0.50%	-0.50%
	21:30	米	貿易収支	4月 -49.4b	-49.4b
	21:30	米	新規失業保険申請件数	43981 1877k	1833k

Date	Time	Event	予想	前回	
6月5日	14:00	日	景気一致指数・速報	4月 82.7	90.2
	15:00	独	製造業受注(前月比)	4月 -19.9%	-15.6%
	21:30	米	非農業部門雇用者数変化	5月 -7500k	-20537k
	21:30	米	失業率	5月 19.1%	14.7%
	21:30	米	平均時給(前月比/前年比)	5月 1.0%/8.5%	4.7%/7.9%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 泣き面に蝗

アジア各国ではCOVID-19の感染拡大の一服を受け、ロックダウンの解除が進み、経済も通常モードに移行しつつある。まだ収束したわけではないが改めて意識されるのは、今回のCOVID-19の流行を1年前に予測することはとても難しいものであったこと、そうした予測できないリスクへの準備、所謂BCPの重要性というものがある。本邦で本格的に流行が始まる3月までの3か月間の動きもまた重要であったと思われる。実際に12月以降の初動が各国・地域の感染者数の多寡に影響を与えた部分は否めない。自然災害や感染症の拡大といったリスクへの対処という観点においては、見えないリスクへの対応と同時に予見されるリスクへの初動というものが、その後の被害の大小に大きく影響してくるということはしっかりと認識しておくべきだろう。既に報道される機会も度々あったことから、ご存知の方も多いと思うが、アジアでは新たな災厄が訪れる兆しがある。蝗害である。日本では聞きなれない言葉であるが、バッタの大量発生が一部地域では大きな問題となっている。2018年のアラビア半島南部での稀にみる大雨により大量発生したサバクトビバッタは、世代を経る毎に繁殖数が増加すると言われる。2019年以降、アラビア半島各国から各地に広がり、パキスタン、インド、東アフリカと大量発生地域が拡大。現状においても、アフリカの一部地域やインドといった国ではバッタの大量発生による被害に悩まされている。とりわけ、インドにおいてはCOVID-19の感染拡大に重なったこともあり、深刻な被害となる懸念が懸念される。依然として農業従事者が多いとされるインドにおいて蝗害による農作物の収穫減は、インフレ率の減少や農業従事者の収入減を通じた個人消費の落ち込みといった経済への悪影響は甚大となる可能性も否定できない。現状南西アジア、東アフリカに収まっている被害地域が一段と拡大する可能性も否定できず、見えている蝗害へのリスク対応も各国で必要になってくる。(伊藤貴)

■今週のドル/円 見直し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
7	13



東京	東京時間は109.00レベルでオープン。仲値前に下押しする場面があったが、日経平均がプラス圏で推移したことがサポート材料となり、再び109円台のせ。一巡後は、109円ちょうど付近をもみ合う展開となり、結局、109.09レベルでクローズ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、109.09レベルでオープン。世界的な景気回復期待が続く中109.16まで上昇するも、本日のECB理事会を待つ中ユーロが売られクロス円が下落したことで108.84まで売られる場面も、結局108.90レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1208レベルでオープン。ECB理事会を控えてポジション調整から1.1195まで低下していたが、昼過ぎにECBがPEPPの購入額を6,000億ユーロ増やすと決定すると債券高と相まってユーロが買われ1.1272まで上昇し1.1269レベルでNYに渡った。(ロンドン トルフィ- 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	海外市場のドル円は前日の米株高が好感され、リスクオンの流れが続く中、約2カ月ぶりに109円台を回復。一時109.16まで上昇するが、本日のECB理事会を控え、欧州株の調整売りが進む中、円買い優勢となり108.84まで反落し、108.90レベルでNYオープン。朝方発表された米国の新規失業保険申請件数や失業保険継続受給者数は予想を上回るも、ドル円は限定的だった。その後、ダウ先物が下げ幅を拡大する動きに圧迫され、一時108.62まで下落するが、ECB理事会で発表されたパンデミック緊急購入プログラム(PEPP)が予想以上の規模となったことが意識されたためか、ユーロ円が急伸し、ドル円はつれ高となり109.09まで上昇。買い一巡後、108.87まで反落するが、終盤にかけてダウ平均がプラス圏に浮上する動きを横目に円が売られ、109.20まで高値を更新し、109.14レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、7日連続で前日の高値更新を続ける中、ECB理事会を控え買いが一巡し、1.1195までじりじりと下落。早朝のECB理事会では予想通り政策金利は据え置きとなるも、PPEP購入規模が6000億ユーロ増加し、予想外の拡大にユーロ買いで反応し、1.1269レベルでNYオープン。朝方はオープン前の買いが一巡し、1.1217まで下落。ラガルドECB総裁の記者会見では、「Q2の経済縮小は前例のない規模」、「2020年GDPは8.7%縮小、2021年GDPは5.2%拡大の見通し」などと述べるも、金融緩和の拡充が意識されたためか、イタリア国債の買いとともにユーロも買われ、1.1362まで急伸。午後は買いが一巡し、1.1313まで反落するも、終盤かけて米株が買われるとユーロ円上昇にサポートされ、再び高値1.1362まで反発し、1.1337レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。